

World Vision



タンザニア連合共和国
タンガ州へのソーラーランタンご寄贈
中間報告書(配布 1 年後の成果)

2023 年 3 月 28 日

特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
URL: <http://www.worldvision.jp>

I. 支援事業概要

支援事業名	タンザニア連合共和国 タンガ州へのソーラーランタンご寄贈
支援事業地	タンザニア連合共和国 タンガ州の6支援地域(ムキンガ、ムゲラ、マガンバ、ムクンブル、クワムシシ、ムニュジ)
寄贈品	ソーラーランタン 1,092 個
寄贈日	2021 年 5 月 31 日(WVT から受益者への配布を6月～7月に実施)
報告対象期間	2022 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 12 月 31 日

II. 支援事業地背景

【タンザニア連合共和国について】

タンザニア連合共和国(以下、タンザニア)は東アフリカに位置し、日本の約 2.5 倍の国土に約 130 の部族、約 5,973 万人(世銀、2020 年)が暮らしています。広大な大地と豊かな自然や野生動物を有する大国であり、2019 年の経済成長率は 5.8%に上りますが、一人当たりの GNI(国民総所得)は 1,080 米ドルであり、全国民の 49%以上が一日 1.9 ドル未満で暮らしていると推計される低所得国の一つです(世銀、2020)。広大な国土に人々が散在して生活しており、また国からの開発予算が十分に配分・執行されないため、特に地方農村では基本的なインフラが未整備のままとなっている現実があります。

【タンガ州について】

タンガ州はタンザニアの北東の端に位置し、東はインド洋に面し、北はケニア国境に接しています。州都タンガは商業都市ダルエスサラームから北へ 300Km、車で約 6 時間の距離にあります。人口は 205 万人ほどで、サンバ族、ングウ族、ジグア族、ボンデイ族など多様な民族が暮らしています。住民の多くが農業や牧畜で生計を立てており、主な農産物としてメイズ、キャッサバ、米、カシューナッツなどが挙げられます。漁業や小規模ビジネスに従事している住民もいます。港があるという立地条件より、国内でも比較的裕福な集ですが、州都タンガ(貧困率約 8%)とそれ以外の地域(貧困率約 30%)の格差が目立っています。

現在ワールド・ビジョンは州内 8 つの県のうち、特に脆弱性の高い 4 つの県にまたがる 6 つの支援地域で活動しています。具体的にはムキンガ県のムキンガ地域、キリンディ県のムゲラ地域、ハンデニ県のマガンバ地域、ムクンブル地域、クワムシシ地域、コログウェ県のムニュジ地域です。この度ご寄贈頂いたソーラーランタンはこの全 6 地域の人々の生活環境改善のために用いられています。

同地域では電力インフラが整っておらず、ランタンのご寄贈前、多くの家庭では灯油(ケロシン)ランタンを使用していました。そのため、灯油による事故、ガスによる健康や住環境への悪影響、灯油代による家計の圧迫といった問題を抱えていました。中には灯油代を支払うことのできない貧困家庭もあります。子どもたちは家で勉強や学校の宿題をすることができず、これが成績低下の一因になっていると言われていました。また、電気がない診療所では、夜間の急患に対応することがほぼできていませんでした。一部の診療所では患者が灯油ランプを持参したり、スタッフの携帯電話の灯りに頼っていましたが、安全な処置をすることは困難な状況でした。

III. 配布先・受益者 (カッコ内はおおよその受益者数)

	地域名	世帯	診療所	学校	その他	合計
1	Mkinga	256 (1,331)	0	0	0	256 (1,331)
2	Mgera	100 (520)	0	0	0	100 (520)
3	Magamba	192 (1,035)	2 (1,500)	4 (1,600)	村役場 1	199 (1,035)
4	Mkumburu	90 (515)	1 (1,200)	1 (400)	0	92 (515)
5	Kwamsisi	259 (1,347)	6 (2,500)	0	0	265 (1,347)
6	Mnyuzi	179 (938)	0	0	0	179 (938)
ランタン合計						1,091 台
受益者数合計						約 5,686 人

※通関時、検査のため 1 台をタンザニア規格基準局に提出する必要が生じました。WV より繰り返し要請をしたものの、明確な理由もなく返却がなされなかったため、配布したランタンの合計は 1,091 台となっています。

※ニーズ調査の結果、診療所には使用できる電気があり、また多くの学校は夕方以降閉まっていることから、世帯でのニーズが一番多く、以上のような内訳となりました。

※各世帯人数、診療所、学校の受益者数は、各村や施設の周辺地域の人口より、おおよその数を算出した数字となっています。

IV. 成果

指標	2022 年 3 月	2022 年 12 月	備考
適切に管理・活用されているランタンの数	1,091 個	1,091 個	モニタリングの結果、紛失や故障は確認されていません。
灯油が不要となったことにより 1 家庭で節約することができたお金の額	Tsh 18,000 (\$8) / 月 ※半年で約\$48	Tsh 12,000-18,000 / 月 ※1 年間で約\$96	
ソーラーランタンの利用により可能となった経済活動による収入	Tsh 5,000 (\$ 2) / 日 ※半年で約\$144	Tsh 2,500-5,000 / 日 ※1 年間で約\$288	主に女性が夕方に、食べ物を販売するなどの小規模ビジネスを行っています。
子どもの自宅での学習時間	1~3 時間 / 日	1~3 時間 / 日	ベースラインはおおよそ 0 時間。子どもたちは継続して学習に取り組んでいます。
ソーラーランタンを用いて夜間診療を行っている診療所	6 か所	6 か所(※)	ソーラーランタンを受け取った全ての診療所で夜間診療を行っています。

- 世帯では灯油ランプやロウソクを使用する必要がなくなったことにより、経済的負担が大きく軽減されているほか、灯油ランプによる事故が減少しています。また、煙による健康へのリスクも軽減されている様子が、子どもの呼吸器系の症状が少なくなったという報告が複数の家庭からなされました。
- ランタンの配布前は、灯油ランプを使用している家庭であっても、灯油代節約のために夜間は使用しないことが多く、帰宅後に自習や宿題をしている子どもはほぼいませんでした。ランタンの配布により、子どもたちが自宅で勉強できるようになり、宿題を終わらせる子どもが増え、その結果学校の成績も向上していることが聞き取りにより分かっています。
- 中にはもともと灯油を購入する余裕もなかった貧困世帯もあり、そうした世帯では夕ご飯を準備する時や食べる時など、日々の基本的な活動にもあかりがもたらされ、生活の改善がより一層実感されています。
- 診療所では、特に出産など夜間に急な対応を必要とする場合に、ランタンを活用しています。クワムシン地域のある診療所では、半年に対応できる夜間診療の件数が約100件から500件(子ども230件、おとな270件)に増加しました。地域での自宅分娩や乳幼児の死亡の減少に貢献しています。
- ムクンブルの診療所では、以前は夜間対応をしている保健スタッフが蛇に噛まれるなどの怪我が発生することがありましたが、ソーラーランタンの明かりによりそうした被害もなくなり、スタッフが安心して勤務できるようになっています。
- 学校では、教員が夕方以降も教員室で授業準備やテストの採点をできるようになったため、日中生徒に接する時間が増え、授業の質向上にも繋がっています。
- マガンバ地域の村役場では、ソーラーランタンの使用により、夜間の子どもや女性への暴力に対応できるようになっています。地域の子どもの女性への保護が今後より強化されることが期待されています。

【写真】



ランタンを受け取った母親と子ども



事業地内の診療所の保健スタッフ



事業地内の診療所の保健スタッフ



自宅で勉強中の男子学生

【受益者の声】



アグネスさん

アグネスさんは地域の診療所で働く保健スタッフです。「診療所にいただいたソーラーランタンのおかげで、夜間の診療がとても楽になりました。以前は携帯電話のライトを使用していたため、長時間確保できる夜間のあかりがなく、患者に対応することが困難でした。このソーラーランタンの明かりはすぐに充電が切れることもなく長持ちするので、夜間診療の効率が大きく改善しました。夜間に対応できる患者さん、特に出産、子どもの体調不良や事故などの急患への対応件数が増えています。」とっていました。

サブリナちゃん

「中学校に進学してからずっと、もっと大きな灯油ランプを買ってもらうため、両親をどう説得しようか考えていました。でも両親の収入が十分でないことを知り、あきらめていました。」そんな時、サブリナちゃんのもとにソーラーランタンが届けられました。

「ソーラーランタンは私の未来を明るくしてくれました。夜も勉強して宿題を終わらせることができるようになりました。お母さんも私の成績が良くなったことを喜んでくれて、家庭も明るくなっています。私のような他の子どもたちにも、明かりの支援が届けられることを祈っています。」と嬉しそうに話してくれました。



ピーター君

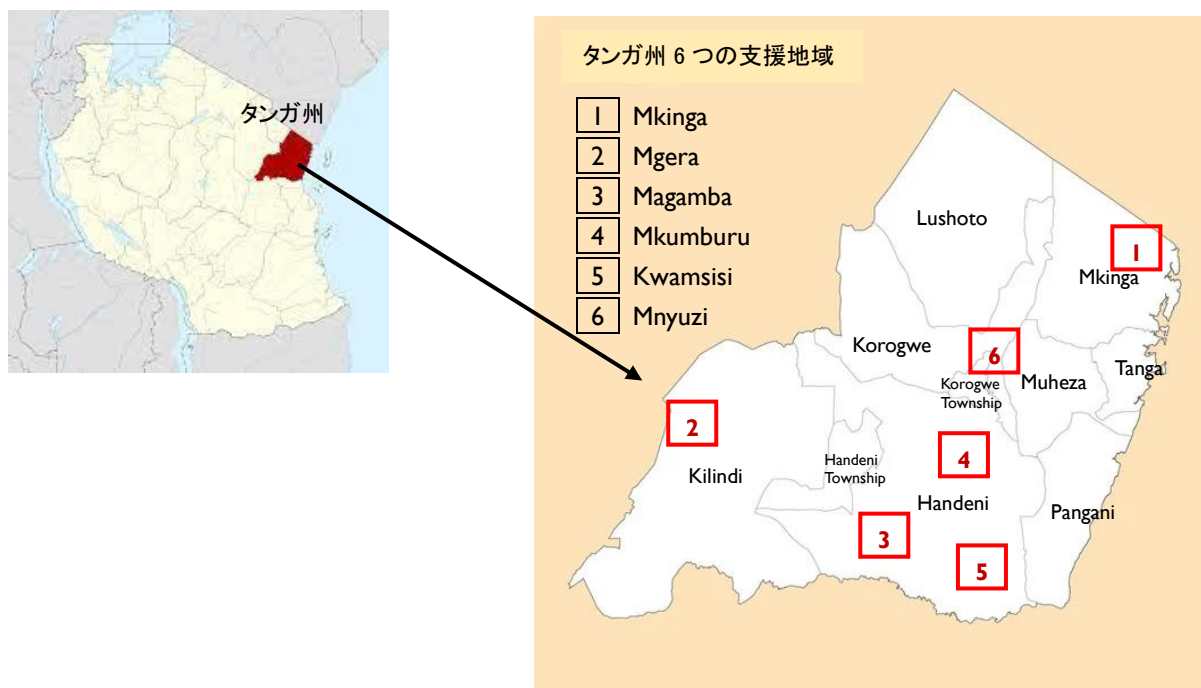
ご支援の前、ピーター君は懐中電灯を使って勉強していました。「明かりは弱く、バッテリーに週 1,500 シリング(約 0.5 米ドル)かかるため、家ではあまり勉強することができず、成績も悪くなる一方でした。」

ピーター君がソーラーランタンを受け取ったのは小学 7 年生の時でした。「ソーラーランタンはとても明るくて、充電も無料です。おかげで家でも快適に、時間を気にせず勉強できるようになりました。」成績も向上し、中学校に進学することができました。「中学校の定期試験では 38 人中 12 番になりました。もっと勉強を頑張っ、将来は私に教育を受けさせるために苦労している両親を幸せにしたいです。」とっています。



注:上記の受益者の名前は仮名です。

【事業地地図】



以上